

枚方市広報アドバイザーが従事した職務の遂行に係る情報

議 題	人口誘導・定住促進における市のPR 等について その他
日 時	平成 30 年 10 月 24 日（水） 14 時 00 分～17 時 00 分
場 所	別館 4 階 特別会議室
出席者	伊賀広報アドバイザー 市長公室参事 総合政策部次長 消費生活センター課長及び同課職員 1 人 企画課職員 1 人 ひらかた魅力推進課職員 1 人 広報課長及び同課職員 3 人
主な意見	<p><人口誘導・定住促進における市のPR 等について></p> <p>*定住促進に向けた子育て施策のための空き家の利活用について NPOと協定を結び空き屋を高齢者支援や子ども食堂などの事業に活用しては。また、トラブル対応などへの負担感から貸したくないという空きや所有者がいると思うので、行政など信用できる組織からアプローチすることで利活用が進むのでは。他自治体の事例などの確認を。</p> <p>*小学6年生へのアンケートについて アンケート案の居住年数欄は、一時的に枚方を離れる人もいると思うので合計の年数か、直近かをわかるように記載したほうがよい。</p> <p>*枚方市駅前のデジタルサイネージによるプロモーションについて 次年度も、空きがあれば枚方市の広告を掲出してもらうような依頼を試みてはどうか。先方の事業者にとっても、空き枠には枚方市の広告が出せるのであればメリットだと感じるのではないか。</p> <p><その他></p> <p>*消費生活センター啓発紙「くらしの赤信号」のより効果的な配布方法について 文字量が多いように感じる。ターゲットを絞った紙面づくりを。配布方法については、高齢者が集う協力してもらえれば効果的では。例えば、床屋や接骨院などでは、高齢者同士が情報交換をしていると思う。 紙面デザインや配布先、方法などについて、配布に協力しているボランティアにヒアリングやアンケートをとってみては。その結果が紙面に反映されれば製作に参加しているという思いが強くなり、配布活動にも熱が入るのではないか。</p> <p>*「マイカたちやいます、」全国調査結果の活用について 各都道府県の特長コメントを吹き出して記載するなど、拾い読みできるリーフレットなどが良いのでは。調査でさまざまな読み方が書かれたマグカップなども面白いが、クリアファイルなどと違ってあまり持ち歩かないものなので宣伝効果はそこまでない。もしもPRグッズを作りたいのであれば、目的を先に考えるべき。</p>
事務局	市長公室 広報課